

**秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会
漁業影響調査検討委員会（第1回）**

○日時

令和6年6月17日（月） 13時30分～15時00分

○場所

秋田地方総合庁舎 4階 402会議室
（一部の構成員はWEB会議形式にて参加）

○参加者

秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課 立石政策監
秋田県農林水産部水産漁港課 三浦政策監
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社 佐々木プロジェクトダイレクター
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社 丸川許認可・渉外チームマネージャー
秋田県漁業協同組合 菅原船川地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 清野船川地区運営委員
秋田県漁業協同組合 伊藤天王地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 児玉天王地区資格審査委員
秋田県漁業協同組合 仲村船越地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 阿部船越地区運営委員
秋田県漁業協同組合 加藤脇本地区運営委員
秋田県漁業協同組合 澤田脇本地区運営委員
秋田県内水面漁業協同組合連合会 村上副会長
雄物川水系サクラマス協議会 渡部会長
秋田県鮭鱒増殖協会 須田会長
八郎湖増殖漁業協同組合 菅原副組合長理事
秋田県水産振興センター 斎藤総務企画室長
秋田県水産振興センター 藤田資源部長
公益財団法人海洋生物環境研究所中央研究所 三浦主幹研究員
経済産業省資源エネルギー風力政策室 千葉係長（※）
国土交通省港湾局海洋・環境課海洋利用調査センター 鈴木専門官（※）
農林水産省水産庁資源管理部管理調整課 森田計画官（※）

男鹿市産業建設部農林水産課 谷主幹（※）
潟上市総務部企画政策課 小玉課長補佐（※）
潟上市産業振興部農林水産振興課 門間主事（※）
秋田市新エネルギー産業推進室 藤原参事（※）
（※オブザーバー）

○議題

（１）漁業影響調査検討委員会の設置について

●秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）より資料１について説明。意見・質問無し。

（２）選定事業者事業計画概要説明、（３）漁業影響調査実施計画の検討スケジュール等について

秋田県農林水産部水産漁港課

●漁業影響調査検討委員会は、本発電事業の建設及び稼働による漁業への影響を調査し評価する検討の場である。

●検討のテーマは４つあり、「調査の具体的計画の作成」、「調査結果・データの公表方法」、「履行状況及び調査結果の評価」及び「調査を行う上で生じた課題等に対する検討」である。

●今年度は「調査の具体的計画」を検討し完成させる。

●秋田県水産振興センターが洋上風力発電施設の建設・稼働による影響をとりまとめた「秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における洋上風力発電事業に係る漁業影響調査の手法」をガイドラインとしてもらいたい。

●実際には、その海域で操業している漁業者や内水面の漁業者がどのような影響を心配し、どのような調査に協力できるのかといった意見を十分に聴き取った上で、何に重点を置いて調査するかを整理し、学識経験者の助言・指導をもとに、最適な調査方法を検討し、調査計画を策定していくこととなる。

●男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）より資料４について説明

八郎湖増殖漁業協同組合

●洋上風力発電の高周波によるサケ、シラウオ、ワカサギの遡上への影響について調査をお願いしたい。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

●いただいたご意見を踏まえ、今後、計画を策定する。

雄物川水系サクラマス協議会

●14ページ「漁業影響を合理的・科学的・客観的に評価する」という記載が抽象的であるため、次回以降の検討委員会または個別に具体的な説明をお願いしたい。

●6ページに建設後の調査期間は3年と記載があるが、その期間で影響の把握が十分にできるか疑問であるため、必要に応じて延長も検討すべきである。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

●調査手法に関しては、個別に説明させていただく。

●協議会意見とりまとめに、大規模な海洋工事後から海洋環境が安定するまでの期間は約3年間と記載あるため、まずは3年間実施し、漁業への影響を把握し評価することを考えている

秋田県水産振興センター

●参考資料13ページに記載のとおり、3年間の調査以降に海洋環境が安定しないと判断した場合は、調査延長を検討することとなっている。

●延長調査で必要な項目等については検討委員会の場で検討していくこととなる。

秋田県鮭鱒増殖協会

●サケ・マスの稚魚は毎年3月末に放流するが、洋上風力発電ができることによる稚魚の回遊経路への影響について調査をお願いしたい。

●5～6年前から山形の沿岸で回遊経路に関する調査を実施中であり、秋田県でも同様の調査を実施すると聞いている。この調査結果の他、同様の調査を行った結果があればそれも踏まえて、本事業での影響検討を進めてもらいたい。

秋田県農林水産部水産漁港課

●サケ・マス稚魚が川から海へ下ってからの回遊経路の調査は、今後事業者でもヒアリング等の上、調査計画を策定すると思うが、県でも同様の調査を実施するため、水産振興センターより補足させていただく。

秋田県水産振興センター

●にかほ市沿岸では、すでに山形県が調査を実施している。一方、当センターでは、今年度から男鹿半島周辺での実施を予定しており、来年3月実施に向け現在準備を進めているところ。山形県での調査結果も踏まえて、本取り組みを進めたいと考えている。

秋田県内水面漁業協同組合連合会

●雄物川にはアユが遡上してくるが、工事による影響がないように計画立案をお願いしたい。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社

●いただいた意見を踏まえ、今後、計画を策定する。

公益財団法人海洋生物環境研究所中央研究所

●洋上風力建設による漁業従事者の方の不安はあると思うが、その不安を網羅的に解消できるように定めたものが手法案である。しかし、手法案の調査は、盛りだくさんになっており、広く浅い調査ではデータの質が低減する懸念があると考えている。本検討委員会では、どの魚種、漁法に重点を置いて調査するかを検討し、絞り込んでいく必要があると考えている。絞り込む際には、漁業者意見をヒアリングして、計画策定を進めてもらいたい。海洋生物環境研究所としては、海外の知見等を参考に協力できると思う。

●調査の期間について、委員会中に意見もあったが、調査結果を踏まえ、検討委員会内で意見交換しながら、作り変えていくことも必要だと考えている。

(4) 今後の検討委員会の進め方

産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）

●次回以降の議事の公開について、次回からは、調査計画の作成に向

けて、具体的な漁場の情報や漁業実態に関する情報を扱うため、漁業者の皆様の利益を保護する観点から、１２月の調査計画の承認までは、資料１の３ポツの規定に則り、検討委員会を非公開、資料及び議事要旨の全部を非公開としたいと考えるがよろしいか。

全員

●異議無し

産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）

●それでは、計画の承認まで検討委員会を非公開、資料および議事要旨の全部を非公開とする。

●次回の検討委員会の日程については、事務局より連絡する。

以上